

浜の活力再生プラン

令和 5 ～ 9 年度

(第 2 期)

1 地域水産業再生委員会

組織名	天草西海地区地域水産業再生委員会
代表者	会長 中鋪潤也（天草漁業協同組合理事）

再生委員会の構成員	天草漁業協同組合天草町支所、崎津支所 天草市経済部水産振興課 熊本県天草広域本部農林水産部水産課
オブザーバー	—

対象となる地域の範囲 及び漁業の種類	1 対象地域 天草市天草町、河浦町崎津地区（天草漁業協同組合天草町支所、崎津支所の地区） 2 対象漁業種類 85 名（延べ 173 名） 小型機船底曳網（手繰網）21 名、一本釣り 17 名、刺網 53 名、大型定置網 10 名、小型定置網 8 名、潜水 16 名、たこつぼ 7 名、かご 10 名、筒 5 名、魚類養殖 10 名、真珠養殖 5 名、ヒオウギ貝養殖 9 名、海藻養殖 2 名 【漁協天草町支所の地区】 小型機船底曳網（手繰網）16 名、一本釣り 7 名、刺網 44 名、大型定置網 10 名、小型定置網 8 名、潜水 11 名、たこつぼ 6 名、かご 8 名、筒 5 名、魚類養殖 9 名、ヒオウギ貝養殖 1 名、海藻養殖 2 名 【漁協崎津支所の地区】 小型機船底曳網（手繰網）5 名、一本釣り 10 名、刺網 9 名、潜水 5 名、たこつぼ 1 名、かご 2 名、魚類養殖 1 名、真珠養殖 5 名、ヒオウギ貝養殖 8 名、海藻養殖 2 名 ※令和 5 年 3 月現在（天草漁協調べ）
-----------------------	---

2 地域の現状

（1）関連する水産業を取り巻く現状等

当地域は、熊本県の最西端に位置し、天草灘の紺碧の海と荒々しい断崖、波穏やか羊角湾、背後に迫る山々に囲まれた自然豊かな地域である。

崎津地区がある河浦町と天草町の平成 12 年の国勢調査では人口が 11,112 人であったが、令和 2 年には 6,444 人と急激な過疎化が深刻な地域である。

国、県、市の交通網も整備が進み鮮魚のトラック輸送もかなりの短縮ができてきたものの、まだ、天草島外の熊本市場まで 2 時間 30 分かかる状態である。

地域の漁業は、砂質性の底質が広がり多くの曾根や瀬が点在している天草西海岸の沖合では、小型機船底曳網漁業や一本釣り漁業が営まれており、岩礁域で複雑な地形の沿岸では定置網漁業や刺網漁業が、穏やかな羊角湾では魚類養殖や貝類養殖などが営まれている。令和 3 年度の水揚げは、1,299 トン水揚げ金額で、571,090 千円である。

しかしながら、魚価の低迷や燃油資材の高騰により安定的な漁業経営ができず、さらに藻場が減少し、後継者不足や高齢化も深刻になっている。

このような状況の中、作り育て管理する漁業対策として、資源管理計画に基づく休漁日の設定、種苗放流や藻場の造成、地域住民と協力した沿岸域や港内における清掃活動等、漁場生産力や漁村の魅力向上に取り組んできている。特に藻場育成については、10 年前から天草市の協力・指導のもと地域漁業者が一丸となって主力水揚げである伊勢えびの産卵場所の育成のために取り組んでいる。また、燃油高騰対策としてセーフティーネット構築事業に加盟している。加えて、釣りによって漁獲された天草西海岸のマアジを天草町支所では「あまくさアジ」としてブランド化に取り組んできたほか、平成 26 年度からは、小型機船底曳網では、漁場が近く、漁獲物の鮮度が良いことを活かして「天草底曳日帰りもん！」として PR している。これら対策により漁家所得の向上に努めているが、依然として魚価の低迷、燃油・資材の高騰等厳しい状況が続いており、さらなる取組みを推進し魅力ある漁村作りが必要とされている。

(2) その他の関連する現状等

天草西地区に参加する地域は、天草市河浦町崎津集落が 2018 年に「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」でユネスコの世界文化遺産に登録された。崎津カトリック教会より数キロの地区である天草市天草町大江集落には、大江カトリック教会があり、キリスト教に関係深い地域である。観光入り込み客数は、登録前から約 2 倍に増加しており、崎津地区の「きんつ市場直販所」で地元漁業者が製造した水産加工品を中心に、販売している。地域の漁業をうまく観光資源として活用するだけでなく、地域が主催する産業文化祭等に積極的に参加し、地元の水産物及び加工品を PR するとともに、漁業者の所得向上の為に販売活動を行なっている。

3 活性化の取組方針

(1) 前期の浜の活力再生プランに係る成果及び課題等

--

(2) 今期の浜の活力再生プランの基本方針

＜漁業所得向上のための取組み＞

1 流通体制の改善及び水産物の高付加価値化

- ・消費者への直接販売体制の構築、推進
- ・鮮度保持、ブランド化による水産物の高付加価値化の推進
- ・新たな水産加工品開発への取組みによる水産物の付加価値向上の推進
- ・漁業者とともに、魚食普及活動に取り組む
- ・熊本県適正養殖業者認証制度等を活用し、販売店及び消費者に安全安心な養殖魚をPRすることで消費拡大と魚価向上に努める

2 観光及び資源の活用

- ・きんつ市場の有効活用
- ・羊角湾観光クルーズへの取組み
- ・漁協女性部による未利用資源の有効活用への取組み

3 資源管理・漁場生産力の向上

- ・種苗放流による水産資源の維持・強化
- ・藻場保全による水産資源の保護・培養
- ・休業期間（漁業種毎及び全体）の設定

4 漁業就業者の確保、育成

- ・県及び市と連携した新規漁業就業者及び漁業後継者の確保・育成
- ・県及び市と協力し、収益性のある漁業を創出する

＜漁業コスト削減のための取組み＞

- ・燃油高騰対策のため漁業者のセーフティネットへの加入促進
- ・全漁業者が船底清掃等を通して省燃油活動の推進

(3) 資源管理に係る取組

熊本県漁業調整規則、日本海・九州西広域漁業調整委員会指示及び天草不知火海区漁業調整委員会指示が定める採捕制限、並びに資源回復計画に基づく資源管理措置を遵守し、資源保護及び漁獲量の適正管理に努める。

(4) 具体的な取組内容（毎年ごとに数値目標とともに記載）

1 年目（令和5年度）所得向上率（基準年比）10.05%

漁業収入向上のための	1 流通体制の改善及び水産物の高付加価値化 ＜漁船漁業者＞
------------	----------------------------------

取組	① 手繰網漁業者： ・本地区の小型機船底曳網は漁場が近いことに加え、1回の曳き網時間が短いことから魚体が傷つきにくい。「天草底曳日帰りもん！」ブランドとして確立し、ポスター等の販売促進ツールの作成を検討する。 ・漁獲が多く安価になった魚や、市場流通ができない未利用資源を加工原料として活用する。 ② 一本釣り漁業者 ・ブランドアジである「あまくさアジ」の出荷箱の改良や活魚での出荷、加えて出荷規格の検討を行う。熊本市場のみの出荷であったが、福岡・関西・関東の市場また、飲食店への出荷も併せて検討する。 ③ 全漁業者 ・未利用資源の魚種を把握し、養殖用飼料など有効利用に努める。 ・漁協と新たな販路の検討をおこないつつ、出荷先構築に努める。 <養殖業者> ① 魚類養殖業者 ・熊本県適正養殖業者認証制度等を活用し、消費者及び販売店に安心安全な養殖魚をPR（販売店関係者との意見交換、店頭販売の実施等）することで消費拡大と魚価向上に努める。 ② ヒオウギ貝養殖業者 ・冷凍商品及び真空パック商品の開発の検討を行い、周年出荷体制の構築と販路拡大を模索する。 2 観光及び資源の活用 ① 漁協崎津支所及び漁業者は、「天草の崎津集落」が世界遺産に登録された崎津地区に、整備した漁協直売所での地元水産物のPR、観光客への直接販売等により、消費拡大と魚価向上を図る。 ② 漁協崎津支所及び漁業者は、観光業者と連携して羊角湾クルーズを実施し、漁村の魅力向上と観光客への水産物販売の増加により、所得の向上を図る。 ③ 天草町支所女性部は、魚食普及活動を推進し、水産物の消費拡大を図る。 3 漁場生産力の向上 ① 漁協天草町支所・崎津支所及び漁業者は、種苗放流、イカ産卵用柴の設置を継続することと併せ、設置箇所の適地等の検討を行い、効果の向上を図る。また、自主的に全長20cm以下のヒラメ等は再放流し、資源保護と市場価格の向上に努める。 ② 漁協天草町支所及び藻場造成グループは、イセエビの棲み処や稚仔魚
----	---

	の育成場となる藻場を設定し、ワカメのスポアバック設置、クロメ・ホンダワラの母藻投入、ウニフェンスの設置及びウニ駆除等により藻場を保護・拡充することを目的に取り組む。 ③ 漁協天草町支所は、月1回の休漁日の設定について全漁業者へ浸透を図る。また、休業期間の設定されていない漁業種類については、漁業者との協議を行う。 4 新規就業者の確保、育成 ① 漁協天草町支所・崎津支所は、漁業後継者不足や高齢化に対応するため、天草市及び熊本県と連携し、漁業研修制度や漁業就業支援フェア等を活用して、新規就業者の確保・育成を図る。 ② 漁業の多角化を推進することで、漁業者の所得向上を図り、新規就業者の雇用及び後継者の育成に努める。
漁業コスト削減のための取組	1 省燃油活動の推進 ① 定期的な船底清掃を実施し、燃油消費を削減する。 ② 水揚げ時等の船舶係留中の機関を停止し、燃油消費を削減する。 ③ 漁協が給油所等への減速航行の徹底に係るポスター掲示による周知を行い、加えて地区役員及び小組合による確実な周知を行う等、地域一体で10%の減速航行を実施することにより燃油消費を確実に削減する。 2 燃油高騰等対策 ① 漁協天草町支所・崎津支所は、漁業経営セーフティネット構築事業の加入を促進し、燃油高騰や飼料価格高騰時に備える。 3 漁業コストの削減 ① ヒオウギ貝養殖業者は、天然採苗に努め、種苗購入費の削減を図る。
活用する支援措置等	・漁業経営セーフティネット構築事業（国） ・漁業収入安定対策事業（国） ・水産多面的機能発揮対策事業（国） ・競争力強化型機器等導入緊急対策事業（国） ・経営体育成総合支援事業（国・県） ・浜の活力再生加速化支援事業（県） ・水産基盤整備交付金事業（県・市） ・新規漁業就業者支援事業（市） ・がんばる漁師支援事業（市） ・水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業（国）

2年目（令和6年度）所得向上率（基準年比）10.69%

漁業収入向上のための取組	1 流通体制の改善及び水産物の高付加価値化 <漁船漁業者> ① 手繰網漁業者 ・「天草底曳日帰りもん！」の販促ツールを作成する。 ・引続き未利用資源を加工原料として活用する。 ② 一本釣り漁業者 ・検討結果を踏まえ、ブランドアジである「あまくさアジ」の再構築の検討を行うとともに、出荷先及び出荷の方法等の検討結果を踏まえ、試験出荷を行う。 ③ 全漁業者 ・未利用資源の魚種を把握し、養殖用飼料など有効利用に努める。 ・漁協天草町支所・崎津支所と新たな販路の試験出荷検討を行いつつ、出荷先構築に努める。 <養殖業者> ① 魚類養殖漁業者 ・熊本県適正養殖業者認証制度等を活用し、消費者及び販売店に安心安全な養殖魚をPR（販売店関係者との意見交換、店頭販売の実施等）することで消費拡大と魚価向上に努める。 ② ヒオウギ貝養殖業者 ・冷凍商品及び真空パック商品の開発に取組み、周年出荷体制の構築と販路拡大を図る。 2 観光及び資源の活用 ① 漁協崎津支所及び漁業者は、「天草の崎津集落」が世界遺産に登録された崎津地区に、整備した漁協直売所での地元水産物のPR、観光客への直接販売等により、消費拡大と魚価向上を図る。 ② 漁協崎津支所及び漁業者は、観光業者と連携して羊角湾クルーズを実施し、漁村の魅力向上と観光客への水産物販売の増加により、所得の向上を図る。 ③ 天草町支所女性部は、魚食普及活動を推進し、水産物の消費拡大を図る。 3 漁場生産力の向上 ① 漁協天草町支所・崎津支所及び漁業者は、種苗放流及びイカ産卵用柴の設置は継続を行いながら、検討した結果を踏まえ試験的な産卵用柴の設置効果の検証を行う。 ② 漁協天草町支所及び藻場造成グループは、前年の取組み結果を検証し
---------------------	--

	継続して取組む。また、ガンガゼのウニの出荷を行い、所得向上を目指す。 ③ 漁協天草町支所は、月 1 回の休漁日の設定について全漁業者へ浸透を図る。また、休業期間の設定されていない漁業種類については、漁業者との協議を引続き行う。 4 新規就業者の確保、育成 ① 漁協天草町支所・崎津支所及び漁業者は、漁業後継者不足や高齢化に対応するため、天草市及び熊本県と連携し、漁業研修制度や漁業就業支援フェア等を活用して、新規就業者の確保・育成を図る。 ② 漁業の多角化を推進することで、漁業者の所得向上を図り、新規就業者の雇用及び後継者の育成に努める。
漁業コスト削減のための取組	1 省燃油活動の推進 ① 定期的な船底清掃を実施し、燃油消費を削減する。 ② 水揚げ時等の船舶係留中の機関を停止し、燃油消費を削減する。 ③ 漁協が給油所等への減速航行の徹底に係るポスター掲示による周知を行い、加えて地区役員及び小組合による確実な周知を行う等、地域一体で 10%の減速航行を実施することにより燃油消費を確実に削減する。 2 燃油高騰等対策 ① 漁協天草町支所・崎津支所は、漁業経営セーフティネット構築事業の加入を促進し、燃油高騰や飼料価格高騰時に備える。 3 漁業コストの削減 ① ヒオウギ貝養殖業者は、天然採苗に努め、種苗購入費の削減を図る。
活用する支援措置等	・漁業経営セーフティネット構築事業（国） ・漁業収入安定対策事業（国） ・水産多面的機能発揮対策事業（国） ・競争力強化型機器等導入緊急対策事業（国） ・新規漁業就業者総合支援事業経営体育成総合支援事業（国・県） ・浜の活力再生加速化支援事業（県） ・水産基盤整備交付金事業（県・市） ・新規漁業就業者支援事業（市） ・がんばる漁師支援事業（市） ・水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業（国）

3年目（令和7年度）所得向上率（基準年比）11.67%

漁業収入向上のための取組	1 流通体制の改善及び水産物の高付加価値化 <漁船漁業者> ① 手繰網漁業者 ・作成した「天草底曳日帰りもん！」の販促ツールを市場や飲食店、スーパーマーケット等に配布し、天草底曳漁業生産物の鮮度等の違いをアピールするとともに、価格向上を目指す。 ・引続き未利用資源を加工原料として活用する。 ② 一本釣り業者 ・ブランドアジである「あまくさアジ」の試験出荷の結果を参考に本格出荷を行う。 ③ 全漁業者 ・未利用資源の魚種を把握し、養殖用飼料など有効利用に努める。 ・漁協天草町支所・崎津支所と新たな販路を開拓し試験出荷を行ないつつ、出荷先構築に努める。 <養殖業者> ① 魚類養殖漁業者 ・熊本県適正養殖業者認証制度等を活用し、消費者及び販売店に安心安全な養殖魚をPR（販売店関係者との意見交換、店頭販売の実施等）することで消費拡大と魚価向上に努める。 ② ヒオウギ貝養殖業者 ・冷凍商品及び真空パック商品の開発に取組み、周年出荷体制の構築と販路拡大を図る。 2 観光及び資源の活用 ① 漁協崎津支所及び漁業者は、「天草の崎津集落」が世界遺産に登録された崎津地区に、整備した漁協直売所での地元水産物のPR、観光客への直接販売等により、消費拡大と魚価向上を図る。 ② 漁協崎津支所及び漁業者は、観光業者と連携して羊角湾クルーズを実施し、漁村の魅力向上と観光客への水産物販売の増加により、所得の向上を図る。 ③ 天草町支所女性部は、魚食普及活動を推進し、水産物の消費拡大を図る。 3 漁場生産力の向上 ① 漁協天草町支所・崎津支所及び漁業者は、イカ産卵用柴の設置効果の検証を行い、設置場所を選定する。 ② 漁協天草町支所及び藻場造成グループは、前年の取組み結果を検証
---------------------	--

	し、継続して取組む。また、ガンガゼウニを出荷し、所得向上を目指す。取組んでいる藻場のイセエビの禁漁区域への設定のために藻場造成グループでの検討を行う。 ③ 漁協天草町支所は、月 1 回の休漁日の設定について全漁業者へ浸透を図る。また、休業期間の設定されていない漁業種類について休業期間の設定を行う。 4 新規就業者の確保、育成 ① 漁協天草町支所・崎津支所及び漁業者は、漁業後継者不足や高齢化に対応するため、天草市及び熊本県と連携し、漁業研修制度や漁業就業支援フェア等を活用して、新規就業者の確保・育成を図る。 ② 漁業の多角化を推進することで、漁業者の所得向上を図り、新規就業者の雇用及び後継者の育成に努める。
漁業コスト削減のための取組	1 省燃油活動の推進 ① 定期的な船底清掃を実施し、燃油消費を削減する。 ② 水揚げ時等の船舶係留中の機関を停止し、燃油消費を削減する。 ③ 漁協が給油所等への減速航行の徹底に係るポスター掲示による周知を行い、加えて地区役員及び小組合による確実な周知を行う等、地域一体で 10% の減速航行を実施することにより燃油消費を確実に削減する。 2 燃油高騰等対策 ① 漁協天草町支所・崎津支所は、漁業経営セーフティネット構築事業の加入を促進し、燃油高騰や飼料価格高騰時に備える。 3 漁業コストの削減 ① ヒオウギ貝養殖業者は、天然採苗に努め、種苗購入費の削減を図る。
活用する支援措置等	・ 漁業経営セーフティネット構築事業（国） ・ 漁業収入安定対策事業（国） ・ 水産多面的機能発揮対策事業（国） ・ 競争力強化型機器等導入緊急対策事業（国） ・ 経営体育成総合支援事業（国・県） ・ 浜の活力再生加速化支援事業（県） ・ 水産基盤整備交付金事業（県・市） ・ 新規漁業就業者支援事業（市） ・ がんばる漁師支援事業（市） ・ 水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業（国）

4 年目（令和 8 年度）所得向上率（基準年比）11.98%

漁業収入向上のための取組	1 流通体制の改善及び水産物の高付加価値化 <漁船漁業者> ① 手繰網漁業者 ・作成した「天草底曳日帰りもん！」販促ツールを活用した価格向上の取組みを行いながら、新たな活用法を検討する。 ・引続き未利用資源を加工原料として活用する。 ② 一本釣り漁業者 ・ブランドアジである「あまくさアジ」の本格出荷を行いながら、ブランド力の強化に努める。 ③ 全漁業者 ・未利用資源の魚種を把握し、養殖用飼料など有効利用に努める。 ・漁協天草町支所・崎津支所と新たな販路を開拓し試験出荷をおこないつつ、出荷先構築に努める。 <養殖業者> ① 魚類養殖漁業者 ・熊本県適正養殖業者認証制度等を活用し、消費者及び販売店に安心安全な養殖魚をPR（販売店関係者との意見交換、店頭販売の実施等）することで消費拡大と魚価向上に努める。 ② ヒオウギ貝養殖業者 ・冷凍商品及び真空パック商品の開発に取組み、周年出荷体制の構築と販路拡大を図る。 2 観光及び資源の活用 ① 漁協崎津支所及び漁業者は、「天草の崎津集落」が世界遺産に登録された崎津地区に、整備した漁協直売所での地元水産物のPR、観光客への直接販売等により、消費拡大と魚価向上を図る。 ② 漁協崎津支所及び漁業者は、観光業者と連携して羊角湾クルーズを実施し、漁村の魅力向上と観光客への水産物販売の増加により、所得の向上を図る。 ③ 天草町支所女性部は、魚食普及活動を推進し、水産物の消費拡大を図る。 3 漁場生産力の向上 ① 漁協天草町支所・崎津支所及び漁業者は、イカ産卵用柴の設置を定め、効果の向上を図る。 ② 漁協天草町支所及び藻場造成グループは、前年の取組み結果を検証
---------------------	--

	し、継続して取組む。また、ガンガゼウニを出荷し、所得向上を目指す。取組んでいる藻場のイセエビの禁漁区域への設定のために地域漁業者との検討を行う。 ③ 漁協天草町支所は、月 1 回の休漁日及び、漁業種類について休業期間の浸透を図る。 4 新規就業者の確保、育成 ① 漁協天草町支所・崎津支所及び漁業者は、漁業後継者不足や高齢化に対応するため、天草市及び熊本県と連携し、漁業研修制度や漁業就業支援フェア等を活用して、新規就業者の確保・育成を図る。 ② 漁業の多角化を推進することで、漁業者の所得向上を図り、新規就業者の雇用及び後継者の育成に努める。
漁業コスト削減のための取組	1 省燃油活動の推進 ① 定期的な船底清掃を実施し、燃油消費を削減する。 ② 水揚げ時等の船舶係留中の機関を停止し、燃油消費を削減する。 ③ 漁協が給油所等への減速航行の徹底に係るポスター掲示による周知を行い、加えて地区役員及び小組合による確実な周知を行う等、地域一体で 10%の減速航行を実施することにより燃油消費を確実に削減する。 2 燃油高騰等対策 ① 漁協天草町支所・崎津支所は、漁業経営セーフティネット構築事業の加入を促進し、燃油高騰や飼料価格高騰時に備える。 3 漁業コストの削減 ① ヒオウギ貝養殖業者は、天然採苗に努め、種苗購入費の削減を図る。
活用する支援措置等	・ 漁業経営セーフティネット構築事業（国） ・ 漁業収入安定対策事業（国） ・ 水産多面的機能発揮対策事業（国） ・ 競争力強化型機器等導入緊急対策事業（国） ・ 経営体育成総合支援事業（国・県） ・ 浜の活力再生加速化支援事業（県） ・ 水産基盤整備交付金事業（県・市） ・ 新規漁業就業者支援事業（市） ・ がんばる漁師支援事業（市） ・ 水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業（国）

5 年目（令和 9 年度）所得向上率（基準年比）12.96%

漁業収入向上のための取組	1 流通体制の改善及び水産物の高付加価値化 <漁船漁業者> ① 手繰網漁業者 ・前年に検討した結果を踏まえ、作成した販促ツールを活用した PR を行いながら、所得向上に取り組む。 ・引続き未利用資源を加工原料として活用する。 ② 一本釣り業者 ・ブランドアジである「あまくさアジ」の本格出荷を行いながら、ブランド力の強化に努める。 ③ 全漁業者 ・未利用資源の魚種を把握し、養殖用飼料など有効利用に努める。 ・漁協天草町支所・崎津支所とさらに新たな販路を開拓し試験出荷をおこないつつ、出荷先構築に努める。 <養殖業者> ① 魚類養殖漁業者 ・熊本県適性養殖業者認証制度等を活用し、消費者及び販売店に安心安全な養殖魚を P R（販売店関係者との意見交換、店頭販売の実施等）することで消費拡大と魚価向上に努める。 ② ヒオウギ貝養殖業者 ・冷凍商品及び真空パック商品の開発に取り組む、周年出荷体制の構築と販路拡大を図る。 2 観光及び資源の活用 ① 漁協崎津支所及び漁業者は、「天草の崎津集落」が世界遺産に登録された崎津地区に、整備した漁協直売所での地元水産物の P R、観光客への直接販売等により、消費拡大と魚価向上を図る。 ② 漁協崎津支所及び漁業者は、観光業者と連携して羊角湾クルーズを実施し、漁村の魅力向上と観光客への水産物販売の増加により、所得の向上を図る。 ③ 天草町支所女性部は、魚食普及活動を推進し、水産物の消費拡大を図る。 3 漁場生産力の向上 ① 漁協天草町支所・崎津支所及び漁業者は、イカ産卵用柴の設置を定め、効果の向上を図る。 ② 漁協天草町支所及び藻場造成グループは、前年の取組み結果を検証し、継続して取り組む。また、ガンガゼウニを出荷し、所得向上を目指す
---------------------	--

	す。取組んでいる藻場のイセエビの禁漁区域への設定のために地域漁業者と検討を踏まえ任意規則の制定を行う。 ③ 漁協天草町支所は、月 1 回の休漁日及び、漁業種類毎の休業期間の浸透を図る。 4 新規就業者の確保、育成 ①漁協天草町支所・崎津支所及び漁業者は、漁業後継者不足や高齢化に対応するため、天草市及び熊本県と連携し、漁業研修制度や漁業就業支援フェア等を活用して、新規就業者の確保・育成を図る。 ②漁業の多角化を推進することで、漁業者の所得向上を図り、新規就業者の雇用及び後継者の育成に努める。
漁業コスト削減のための取組	1 省燃油活動の推進 ① 定期的な船底清掃を実施し、燃油消費を削減する。 ② 水揚時等の船舶係留中の機関を停止し、燃油消費を削減する。 ③ 漁協が給油所等への減速航行の徹底に係るポスター掲示による周知を行い、加えて地区役員及び小組合による確実な周知を行う等、地域一体で 10%の減速航行を実施することにより燃油消費を確実に削減する。 2 燃油高騰等対策 ① 漁協天草町支所・崎津支所は、漁業経営セーフティネット構築事業の加入を促進し、燃油高騰や飼料価格高騰時に備える。 3 漁業コストの削減 ① ヒオウギ貝養殖業者は、天然採苗に努め、種苗購入費の削減を図る。
活用する支援措置等	・漁業経営セーフティネット構築事業（国） ・漁業収入安定対策事業（国） ・水産多面的機能発揮対策事業（国） ・競争力強化型機器等導入緊急対策事業（国） ・経営体育成総合支援事業（国・県） ・浜の活力再生加速化支援事業（県） ・水産基盤整備交付金事業（県・市） ・新規漁業就業者支援事業（市） ・がんばる漁師支援事業（市） ・水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業（国）

（５）関連機関との連携

上記取組みの効果が十分に発現されるよう、熊本県が策定した熊本県水産業振興基本構

想との連携を図り、加工事業や販路開拓のために、県内外の流通・販売業者等との会合頻度を高め連携を強化する。

4 目標

(1) 数値目標

漁業所得の向上 10%以上	基準年	
	目標年	

(2) 上記の算出方法及びその妥当性

--

(3) 所得目標以外の成果目標

あまくさアジの平均単価を 10%向上	基準年	平成 29 年度～令和 3 年度の 5 中 3 平均： 単価 1,499 円/ k g
	目標年	令和 9 年度： 単価 1,648 円/ k g

(4) 上記の算出方法及びその妥当性

平成 29 年度～令和 3 年度のあまくさアジの平均単価の 5 中 3 の平均を基準とし、ブランド化推進の取組により 10%向上させることを目標とした。

＜あまくさアジの平均単価データ＞

平成 29 年度 1,308 円/ k g

平成 30 年度 1,479 円/ k g

令和元年度 1,485 円/ k g

令和 2 年度 1,616 円/ k g

令和 3 年度 1,534 円/ k g

5 関連施策

活用を予定している関連施策名とその内容及びプランとの関係性

事業名	事業内容及び浜の活力再生プランとの関連性
-----	----------------------

・漁業経営セーフティーネット構築事業（国） ・漁業収入安定対策事業（国） ・水産多面的機能発揮対策事業（国） ・競争力強化型機器等導入緊急対策事業（国） ・経営体育成総合支援事業（国・県） ・浜の活力再生加速化支援事業（県） ・水産基盤整備交付金事業（県・市） ・新規漁業就業者支援事業（市） ・がんばる漁師支援事業（市） ・水産業競争力強化漁船導入支援事業（国）	燃油、飼料高騰による影響を緩和 魚価低落による影響を緩和 藻類の繁殖による漁場造成 省エネ型エンジン等の導入 新規就業者の確保、育成 視察・直売・PR 活動 種苗生産施設整備 新規就業者の確保、育成 漁業収入向上、生産コスト低減するための施設整備等に要する支援 収益性の向上
---	---